



# 極秘親展

戦

電

報

一八

一	一	一	一
四	三	三	二
〇	二	〇	五
〇	五	三	〇
點	受	著	發

昭和一八二八

沖 部 隊 長

通電先 次長 剛

沖集參電第一五九號

一 第三次揚陸實施完全ニ終了シ軍全員ノ引揚ニ成功セリ

二 第三次揚陸人員

「カミンボ」 一九七二名

「ルツセル」 二八三名

計 二二五五名

号軍ノ「ガ」島引揚總員一一七三三名

(八<sup>?</sup>日八時三<sup>?</sup>十分)

(終)

231

1228

# 至急極秘

電

報

二七

昭

和

四一

五八

二八

一六六四  
九六四〇  
三〇〇〇  
三〇〇〇  
三〇〇〇  
三〇〇〇

沖部隊參謀長

通電先次長、剛

沖集參電第九七號(再電要求、急屢延)

一、第二次輸送準備完整シ軍司令部以下諸部隊豫定計畫

二、基キ本四日夜離島ス

三、ホネガ方面ノ敵ハ依然同河右岸ノ線ニ停止ス矢野部隊

ハ前陣地ヲ確保シアリ

三、マ<sup>ル</sup>ボ<sup>ボ</sup>方面ノ敵ハ本朝驅逐艦一ノ授護ノ下ニ大發ニ  
機帆船一ニ搭乘セル部隊ヲ以テ増援セルモ青木部隊  
方面ノ狀況大ナル変化ナキモノノ如シ

(四日十四時)

(終)

203

1230

第二編

至急極秘

昭和十八年九月

電	報	二八	一〇	二〇	發
		二九	〇	二一	八
		一〇	三	四	〇
		一三	〇	〇	點
		〇	〇	〇	受

沖 部 隊 參 謀 長

通電先 本長 剛

沖集參暫第九五號 (五日配布中訂正再配布)

一本三日「マロボボ」方面ノ敵情

陣地ヲ搜索セル結果左ノ如シ

(1) 七時三十分―八時ノ間「マロボボ」北方二軒ノ地區ニ於テ輕  
 戦ス 我ガ兵力歩兵第十六聯隊ノ一中隊 (兵力一四〇重機二  
 敵ノ交戦兵力「アメリカル」師團歩兵第一三三聯隊ノ一部兵

力 約七〇

戦闘ニ依リ敵ニ與ヘタル損害

遺棄死體 三 俘虜 二

我が損害

戦死兵 一

(2) 八時四十五分敵駆逐艦(甲板上大發三 兵約八〇ヲ搭載)

「カミンボ」ヨリ「マロボボ」方面ニ前進ス

(8) 俘虜ノ言ニ依レバ敵ハ「ハビ」附近ニ上陸後「マロボボ」附

近(我が撤退線定ナル (二語不明) 方面ニ於ケル海岸ヲ中心

トスル南北地區)ニ前進スルモノノ如ク出撃ノ現兵力約四〇

◎カルモノノ如シ

我が掃蕩部隊ハ交戦地附近ヲ保持シアルモ敵兵力ニ鑑ミ爲シ得

レバ航空部隊ノ敵主力集結地附近ノ爆撃ヲ希望ス

「ボネギ」方面ノ敵ハ同河右岸ニアリテ依然陣地ヲ構築中ナリ

(終)



作 戦  
**至急極秘**

昭和一八三九

電	報	ニ	ハ	一	二
一	九	七	六	一	五
〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇
點	受	著	發		

次 長 宛  
沖 部 隊 參 謀 長

沖集參電第九六號（五日配布一部訂正再配布ス）

「マロボボ」附近ノ俘虜ヨリ得タル情報

「マロボボ」附近ニ上陸セル兵力ハ少佐ノ指揮スル歩兵約一大隊

（四中隊 迫撃砲約一二門、兵力約六〇〇）ニシテ二月一日「バ

ビ」ニ上陸ス

ニ在「ガ」島兵力

三師團（「アメリカル」師團、第二五師團、海兵第八師團）

飛行機約二〇〇機

「アメリカル」師團ハ「ニューカレドニヤ」ヨリ來リ第三三師團  
ト交代、十二月八日「ガ」島ニ上陸シ、第三三師團ハ「ニューカ  
レドニヤ」ニ到ル、第二五師團ハ一月上旬「ガ」島ニ上陸シ、第  
二師團（海兵ナラン）ハ二、三週間前撤退ス 行先ハ濠洲、「ニ  
ューカレドニヤ」、米國何レカ不明ナリ

(終)

1234

207



第二課

作  
戰

電報

電

報

二

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百

昭和一八二一

沖  
部  
隊  
參  
謀  
課  
長

通電先 次長 剛

沖築參電第一七一號(其ノ三未著ナルモ取敢ズ配布ス)

一昨十日軍司令官ノ巡視行ハル狀況左ノ如シ

(1) 「ガ」島ヨリノ歸還者中約十分ノ一ハ兵站病院入院者約四分ノ三ハ在隊患者ニシテ其ノ大部ハ「マラリヤ」患者トス 目下診斷ノ施行ト一般ノ努力トニ依リ保健竝ニ療養上ノ改變、榮養ニ關スル件等著々整頓セラレツツアルヲ以テ志氣ノ振作ト相俟ツテ本月末頃ニハ相當體力ヲ恢復シ得ルモノト認ム  
(以下其ノ三未著再電要求中)

迅速ヲ期シアリテ之ト共ニ官物ノ尊重ニ關シテハ銳意努力指導  
セラレツツアリ

(二) 現地陸海軍關係ハ圓滑密接ニ存セラレアリ

ニ所命地域ノ防衛確保ニ關シテハ偵察、連絡ヲ促進シ萬全ヲ期シ晝  
夜遂行中ナリ (十一月八時)

(終)

第三課

至急極秘現便

作戦班

電報

一三二五發  
一八〇八若  
一九〇〇受  
二〇〇〇顯

昭和一八二一四

沖 部 隊 參 謀 長

通電先 次長 剛

沖集参冠第一七一號(二月十三日配布ノ其ノ三未着ノ分)

(四)兵站病院ハ収容ス二〇〇〇名ノ収容ヲ目途トシテ整備中ニシテ

近ク在隊全重症患者ヲ收容可能トナルモノト認ム

(ハ)資物廠、兵器廠等ノ勞働軍需品ノ處理ニ關シ軍幕僚以下ノ障頭

指揮ニ依リ

(續)

第三課

# 極秘親展

作戦

昭和一八二二二

電	報	二	二	一	一
		二	一	三	四
		〇	〇	三	五
		〇	〇	五	五
		〇	〇	受	受
				結	結

通符先 次長 剛 沖 部 隊 務 課 長

沖 兼 務 隊 第一九九號

「ケ」號作戦ニ於ケル「エレベンケ」揚陸人員嚴密調査ノ結果左ノ如シ

追テ 細部ニ關シテハ 管線ヲ以テ報告ス

- 第一次 (二月二日) 四、九三五 (含ム海軍四四一)
- 第二次 (二月五日) 三、九二一 (含ム海軍三三二)
- 第三次 (二月八日) 一、七九六 (含ム海軍 七五)

計 一〇、六五二（含ム海軍八四八）

尚沖「シヨートランド」艦第一一二號同一一三號竝ニ沖築艦第一

一五九號ニ依ル每次揚陸人員竝ニ給人員ニ歸スル報告忽卒ノ間

調査ニ遺漏アリ就中軍艦諸部隊（單位數二八）ニ於テ若干宛ノ

重複算定ノ過誤アリシモノト承知セラレ度

（終）

作戦

極秘

第三課

電報

次長宛

沖集参電第二〇四號

一〇七〇發  
二〇五〇發  
一〇〇〇發  
一〇〇〇發  
一〇〇〇發

沖 隊 参 謀 長

「ソロモン」群島方面ニ於ケル二月十日ヨリ二十四日迄ノ敵機ノ攻

撃状況左ノ如シ

「バラレ」

偵 察 二五機（晝間二回）

爆 撃 六三機（晝間一回 夜三回）

戦 果

昭和一九四二

213

1240

襲撃 三

被害

戦死二一 負傷四〇 俘虜三〇〇中九五負傷 飛行機炎五二

大破二 燃料「ドラム」罐約七〇〇本 重機弾薬多数

「エレベントラ」<sup>?</sup>「ブイン」附近

偵察 五機（晝間四回）

爆撃 五五機（晝間二回 夜間八回）

此ノ間撃墜二〇（内燒間一）<sup>?</sup>

被害

戦死三二 負傷一七 薬丸炎上 東祐丸小破

「キエタ」偵察二機（晝間一回）

「レガタ」偵察四機（壹機一回）

銃撃一六機（壹機二回）

戦果

撃墜四（内疑間一）

被害

戦死一 負傷八

「ムンダ」

偵察一三機（壹機五回）

銃爆撃三二機（壹機一〇回）

戦果

撃墜三三機（内疑間一五）



被 害

戦死一〇 負傷七 重傷一 被殺

滑走路ニ三〇〇名弾命中

「コロバンガラ」

偵 察 一二機 (昼間二回)

銃 撃 三七機 (昼間二回 夜二回)

戦 果

艦 隊 六 (内焼損二)

右ノ外最近「ソロモン」群島東南方水域ノ敵艦船ノ動キ頗ル活況ヲ  
 呈シ「ガ」島方面ニ於ケル兵力ノ突出又ハ積極的行動ヲ伺シテ企圖  
 シ「ソ」ヤハ未ダ明カニラザルモ「ガ」島ニ對シ飛行機ヲ增加申テ  
 ハ露情報ニ照シ察知シ得ル所ニシテ其ノ飛行機攻撃ノ重點ハ露艦ノ  
 如ク「ムンダ」ニ對向セラレアレコト明瞭ナリ

(多)



至急極秘親展

昭和一八三七

電報

三六一八五發  
 七〇〇〇〇〇受著  
 〇〇〇〇〇〇〇〇

沖 部 隊 參 謀 長

通電先 次長 剛

沖 築 參 電 第 二 二 八 號

「レンドバ」島ニ對スル砲撃ハ短時間ニ終了セリ

「コロシバンガラ」敵巡洋艦二、驅逐艦五ニシテ砲撃ノ後ニ南方ニ

逃走セルモノノ如シ 被害ノ程度尙不明ナリ

「ムンダ」ニ對シテハ既報（四時五十六分、五時三十七分）ノ外五

時十分更ニ濫爆一二「P」四〇一九銃爆撃 尙六時三十八分、八時

227

1244

五十五分―九時二十八分、十三時二十七分各一機ノ偵察アリ

四日六時四十分「ビル」泊地ニ敵ノ銃爆撃アリ

戦死一六、負傷三二、八艘砲一破壊セラル

(終)



艦四ヲ以テ砲撃ス（被害不明）  
敵ハ巡洋艦、驅逐艦各三乃至四隻ナリ  
尚四時五十六分艦載爆撃機二五、戦闘機一二、  
五時三十七分艦載爆撃機、戦闘機各九、ムンダヲ  
銃爆撃ス（第一根據地隊通報）

（終）

作  
職

秘  
秘

電

報

五二四

沖	二	二	一
部	二	一	六
點	四	三	〇
受	〇	五	〇
著			
發			

昭和一八五二五

隊  
長

通電先

總長 陸軍大臣

沖集參電第六七五號

軍令陸甲第三五號ニ依ル當軍管理編成（編制改正）部隊通稱號陸亞

機密第一三九號第一二條ニ依リ報告ス

南東支隊司令部沖

一一三〇〇

獨立無線第三小隊沖

一一三〇一

獨立無線第六小隊沖

一一三〇二

獨立無線第六十九小隊沖

一一三〇三

獨立無線第七十小隊沖

一一三〇四

（終）

電報

日 陸 軍 秘

親 展

電

報

昭和一八、七、一一

七二〇 二〇三 著  
七二一 〇四〇 著  
〇四三 〇四四 著

通電先 次長剛

沖部隊參謀長

沖集參電第八三號(電註其一未著ナルモ取敢テ提ス)

(未 著)

一劣勢ナル飛行機ト海上輸送カトヲ以テスル當方面  
防衛ハ各島嶼ニ所要ニ滿タサル兵カヲ逐次使用  
スルコトナク某一線ノ絶對確保ヲ決意シ之ニ所要ノ  
兵力ト施設トヲ徹底的ニ集中シ防衛態勢ヲ

採ルヲ適當ト認ム其地線ハ綜合國力就中

飛行機及船舶ノ生産力陸海其他全軍ノ関

係ニ於テ之ヲ律セラルベキモ單ニ限ラレタル當正面ノミ

ニ就テ考フルトキハ「ホーガインビル」島ヨリモ忘ル

「ラバウル」ヲ好適ト思考ス

ニ若シ「ホーガインビル」島ヲ最後の  
三語不明  
其目的

ヲ達成スル爲取敢ズ現地上兵力ノ二倍以上綜合

兵力ヲ必要トスベシ又縱ヒ「ホーガインビル」島ヲ

「ラバウル」ノ前進據點ト考フルモ取敢ズ急速ニ左



記兵カヲ增強スル要アリト認ム

左記

歩兵一聯隊海軍砲(二四糎級)約一〇門

224

1251

速射砲二大隊 十五榴一大隊

十加 一大隊 迫撃砲二大隊

獨立工兵(甲)及船舶工兵各一聯隊

高射砲三大隊 照空隊一大隊

陸上水上勤務隊各二中隊

自動車隊二中隊

三島嶼作戰自衛ノ特質上海軍特ニ其ノ飛行機

及直屬艦艇が最後迄陸上部隊ニ協カスルコト

特ニ必要ト思料ス

四「ゴロンバシガラ」ハ後結兵カラ當軍ヨリ抽出スルコト

ハ當面ノ情勢、指揮建制ノ關係上之ヲ他方面ヨ

リ抽出スル如ク考慮相成度

五「ムンダ」方面ニ轉用セシ彈藥其ノ他ノ補填益ニ豫

定計畫ニ基ク増加ハ今次輸送ニ引續キ優先的

ニ當軍ニ補充セラレ度

(終)

第一線

日 海軍

電 報

一	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四	〇	〇	〇	〇	〇	〇
五	〇	〇	〇	〇	〇	〇
六	〇	〇	〇	〇	〇	〇
七	〇	〇	〇	〇	〇	〇
八	〇	〇	〇	〇	〇	〇
九	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十	〇	〇	〇	〇	〇	〇

隊 参 謀 長

通電先 少長 剛

参 考 明

沖集参電第八八一號

七月十八日夜ニ於ケル「エレベシタ」地區防空戦闘状況

(1) 二十三時三十九分〜一時三十一分

一時二十八分〜一時五十六分

二時十分〜二時五十五分 ノ三次來襲ス

昭和十八年七月十八日

(2) 「B-17」、三、四機 単機九回進入高度四千ト五千大型時限

爆彈混用ス 投下數計約二七發

(3) 戦果 陸軍

高射砲ニ依リ「B-17」一機撃墜

七月十九日朝ニ於ケル「エレベータ」地區防空戦闘状況

(1) 六時三十分ヨリ約十分間六時五十分ヨリ約三十分間、「ロッキ

ー」一機、二回進入ス

上空偵察後去ル

(終)

日 極 秘 親 展 経 緯

昭和一八七三

電 報

四	四	七	四
二	二	二	二
沖	英	英	二
部	〇	〇	二
	八	六	三
	一	五	二
	〇	〇	〇
隊	點	受	著
			發

參 謀 長

通電先 次長 剛

沖集参電第八九六號

一 駆逐艦 萩風、嵐、磯風、十八時三十分直チニ揚陸ヲ開始シ

二十時三十分揚陸ヲ完了セリ

二 重傷者五名ヲ除キ他ノ患者ハ 二語不明 ノ木舟操縦歸還セリ

三日 船ハ沈没セリ。其ノ遭難者中約七〇名ハ驅逐艦ニ收容揚陸セ

リ

尙若干名（約三〇名アル由）漂流シアルモノノ如キヲ以テ大段  
三隻ヲ二十二時避難地ニ向ヒ出沒救助ニ任ゼシム

「測天、天候ハ共ニ異狀ナシ、人員ハ二〇〇〇揚陸完了ス

軍需品明朝揚陸ノ豫定ナリ（二十二時二十分）

（終）

230

1257



電報  
次長宛

昭和一八七二五  
四〇七五五  
四一〇五五  
四一五五五  
四二〇五五  
四二五五五

昭和一八七二五

沖隊參謀長

沖集參電第九〇一號

一 剛方參一電第三六號ニ依ル野戰重砲兵第四聯隊長ノ所在搜索セ  
ルモ未ダ不明ナリ

二 二十二日夜以來日進 遭難地ニ急進中

舟艇ニテ收容セルモノ 陸軍一(他死體一) 海軍六

陸海不明 死體一

三 搜索ハ二十三日正午ヲ以テ打切ル

(終)





日 海軍親展

電 報

ハ  
ニ

一	一	一	一
三	六	二	一
三	七	二	〇
〇	二	〇	〇
〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇

發 著 受 結

昭和一八八三

沖 部 隊 參 謀 長

通 電 先 次長 剛

參 考 明

沖 集 參 電 第 九 四 三 號

海軍情報（七月三十日南東方面一般敵情）（八月一日十三時三十分）

一 南東方面敵情左記ノ如キ特異ノ狀況アリ

水上部隊ヲ以テスル策動ニ關シ嚴重警戒ノ要アリ

(1) 「エスピリツサント」島基地輕哨戒機出現數平常ノ約三倍

一三機ニ違ス

敵ノ有力ナル部隊ハ「エスピリツサント」島出撃ノ徴ヲ呈  
ス

(四) 最近艦隊一般ニ短波通信系ニ於テ電報スルモノ少カリシト

七月三十日左ノ如キ測定位置ヲ得タルモノ激増セリ

「ガ」島近海巡洋艦二隻不詳一隻計三隻何レモ「エスピリ

ツサント」島ヨリ北上「ガ」島ニ到着シタルモノト推定ス

「エスピリツサント」島近海巡洋艦二隻不詳一隻計三隻

(五) 「ソロモン」群島方面總出現艦船三二隻通信活潑重要ナル

任務ヲ有シ策動中ト認メラルモノニ乃至三隻アリ

(電註、地名符使用ノ爲不明)

方面攻略時通信ハ依然不活潑

2872

ナルニ反シ「バンカ」及「ガ」島航空基地間ノ通信目立テ頻ニ  
ニシテ七月二十六日頃ヨリ敵ハ「バンカ」ヲ基地トスル戦爆部  
署ヲ以テスル「ソロモン」群島方面航空攻撃ニ重注ヲ傾ジタル  
モノノ如シ

濠洲印、度東海面英艦二隻ノ外、布哇方面モ未ダ敵艦隊眞珠  
灣出撃等ノ顯著ナル徴候ヲ認メズ、二日八時  
(終)

至急秘

電報

通電先 次長 剛

沖集參電第九五三號

八  
四四四  
〇二二  
五四二  
五〇〇  
〇〇〇  
點受發

沖 部 隊 參 謀 長

昭和一八年

海軍ヨリノ七月綜合情報（八月一日）

「ニューヂョーヂア」方面ニ敵上陸以降ノ通信諜報綜合ニ依ル  
南東方面敵情概略左ノ通ニシテ敵ハ作戰目標ヲ南東方面特ニ「  
ロモシ」群島方面ニ定メ主トシテ「ワイジー」經由「ソロモン」  
群島本部ニ對シ精銳ナル増援ヲ反復シ兵力及施設ノ増強ニ努メ

我が陣地「ニユーヂョーデア」方面ニ對シ航空攻撃ヲ強化シ味  
方防衛力ノ破壊減耗ヲ圖ルト共ニ飛行哨戒ヲ嚴ニシ航空兵力及  
潜水艦ヲ以テスル味方増援輸送路ノ遮斷ニ努メツツアリ  
ハ七月中敵ノ通信狀況ヨリ觀ルモ敵ノ企圖ハ從來ニナク大規模且  
執拗ニシテ前述ノ動靜ハ之ニ處シ當分繼續シ將來ハ益々顯著ト  
ナルベシト判斷ス

### 三 輸送増援狀況

(1) 「フィジー」諸島經由「ガダルカナル」島方面ニ對スル輸送  
増援ハ六月ニ比シ減少セルモ尙引續キ相當ニ活潑ナリ特ニ  
七月八日及二十日頃相當ニ有力ナル増援部隊ヲ北上セルノ算  
大ナリ

(ロ) 「ガダルカナル」島「ニューギニア」方面ニ對スル増援ハ「カロリン」諸島通信上ヨリ觀ルモ依然相當活潑ニ行動サレツツアルヲ認ム

四 水上船艇ノ動靜

(イ) 「ガダルカナル」島方面ノ外「エスピリツサント」「ヌーメア」「スヴァ」方面ニハ尙手配中ナル多數ノ船艇ヲ集中シアリ策動ノ算ナントセズ

(ロ) 濠洲北東及東部「ニューギニア」方面ハ顯著ナル事象ヲ認メザルモ從來ニ比シ出現艦艇多シ

(ハ) 布哇方面眞珠灣ヨリ「ミッドウェイ」及「カントン」ニ攻撃隊ト認メラルルモノ敗隊移動シ未ダ一部滯留シアル外有力ナル水上部隊ノ眞珠灣出撃等ノ顯著ナル徴候ハ未ダ認メズ

(終)

日誌用 秘

電報

通電先次長、副

沖集參電第九五九號

沖部隊參謀長

昭和十八年八月六日  
八、五、一、一、八、三、二、八、二、〇、  
二、〇、三、五、五、〇、  
三、一、三、二、〇、  
點受 著發

海軍情報（八月三日）（八月四日十三時受付）

一、八月二日布哇方面出現機一〇（一日ノ平均四機）

ニ達シ五月三日（一機ニシテ當時A、Q（？））

攻略支援部隊真珠灣？出撃ノ算大ト思ヒ

込マセラレタリ）以來、行動機數ヲ示セリ敵ノ

有力部隊真珠灣より出撃ノ算ナリトソロ

モン群島東方海面ヲ警戒ノ要アリ

但シ敵部隊直航スルヤ西進スルヤ等ノ動靜

ニ關シテハ未詳ナリ（八月五日八時）

（敵）

239

1266





日誌用

八月三日

電報

八	五	一
六	二	一
〇	〇	八
〇	〇	四
四	三	四
〇	〇	五
〇	〇	〇

沖 隊 參 謀 長  
部 隊 受 著 發

昭和一八八六

通電先 次長 剛

沖集滲電第九五八號

海軍情報 八月三日 南東方面一般敵情 八月四日十三時受

南東方面一般通信左記ノ外前日比シ大ナル變化ヲ認メズ

「ソロモン」群島作戰通信系ニ於テ上陸部隊及艦艇共ニ其ノ動靜急

激ニ不活潑トナリ

八月一日決行セラレタル基地突入「レンドバ」港航空攻撃ニ依リ敵

ハ「エキ」セウジヤ」方面ニ對スル一部企圖ガ一時挫折セラレタル  
感アリ 但シ全般ニハ未ダ顯著ナル反響ヲ認メズ

三「ソロモン」群島方面

總出現艦艇一七隻

出現隻數平常ニ比シ少シ

通信狀況又閑散「ダマル」諸島ノ外「ガダルカナル」島近海ニ殘存

セルモノ巡洋艦級三隻不詳一隻及米國商船一隻

四艦艇測定位置

(イ) 「ノーフォーク」島近海米艦一隻 「オークランド」ヨリ北

上中ノモノト推定ス 「ファイジー」島近海米艦一隻

(ロ) 濠洲北東海上「ニューギニヤ」東部附近ニ米驅逐艦及潜水艦

各一隻「タウンズビル」附近ニ英艦一隻

外ニ位置不詳ナルモノ濠洲北東海上米艦二隻

(ハ) 「ラビ」? 基地ノ哨戒機出現數平常ニ比シ多ク同方面艦船

行動中ノ算大ナリ

共七月末ヨリ八月一日ニ掛ケ連日南方海上ニ多數潜水艦出現

特異ナル狀況ヲ呈シアリタル所八月二日ニ至リ小數輻射セルモ

ノ「バタビア」島東端附近ニ一隻 一部ヲ現クセルノ者 大體南緯五ニ

部分ハ「ブリスベイン」方面ニ行動中ノ算アリ

(終)

卷二

日誌至秘

電報

一	八	一	五	發
二	一	四	八	著
二	三	五	五	受
二	三	五	〇	點

沖 部 隊 參 謀 長

通電先 次長 剛

沖集電報第九六三號

海軍情報（八月四日南東方面一般激情）

（八月六日十二時受）

一南東方面各通信系共ニ引續キ通信狀況閑散ニシテ著變ヲ認メズ但シ  
「ニユヘヅライス」及「ヌーメア」ヲ除ク方面ニハ尙未ダ相當多數  
ノ艦船ヲ集中シアリテ「フィジー」方面ヨリノ増援ハ依然活潑ニ行

昭和一八八七

ハレツツアリト認ム

ニ二日「クアラセランゴル」ヲ出撃セリト（一語不明）セル有力ナ

ル部隊ニ關シテハ其ノ後ノ動靜不詳ナルモ尙數日「ミッドウエイ」

「カントン」「ジョンストン」方面哨戒機及「マーシャル」諸島近

海敵潜水艦ノ動靜等ニ對シ嚴重監視ノ要アルベシ

三「ソロモン」群島方面總出現艦艇一九隻最近漸減シツツアルモ「ニ

ユーギョシヤ」方面ニ對シテハ依然小規模ノ輸送ヲ繼續シツツアル

徴アリ

「ニュージョシヤ」方面上陸部隊ノ後方比較的不活潑ナリ

艦艇側定位置左ノ通

「ガ」島近海 巡洋艦級 一隻

不詳 二隻

「エスピリツサント」島及「アイジ」諸島近海

不詳 各 一隻 濠洲京岸ニ英艦一隻 米艦 二隻



至急秘

日誌用

電報

通電先 次長 剛

沖集電第九七一號

海軍情報（八月五日艦船情報）（八月七日十二時受）

八月二日以降比較的閑散ナリシ「ソロモン」群島方面ノ通信狀況

八月五日午後來左ノ如ク活況ヲ呈シ來ヨリ「ガダルカナル」島方

面ヨリ「ニュージヤ」方面ニ對スル輸送増援再ビ活潑化セラル

後濃厚ナリ

六	六	六
八	〇	二
沖	〇	二
六	〇	二
部	〇	二
〇	〇	一
隊	點	受
參	謀	長

昭和一八八八

(1) 「ソロモン」群島方面總出現艦艇三〇隻通信船ト活殺セシテ内

重要任務ヲ有スル指揮官級旗艦一アリ

(2) 上陸部隊通信ニ於テ「ムニトジョジャ」方面ト「ルツセル」及

「ガダルカナル」島間通信頻繁ナリ

(3) 「ソロモン」群島南方海面ニ對シ夜間飛行哨戒ヲ實施シアリ

ニ八月二日眞珠灣ヲ出撃セリト推定セル敵ノ有力ナル部隊ニ關シテ

ハ動靜依然不詳ナルモ左記ハ右部隊ノ行動ニ關聯シアルヤモ知レ

ズ但シ南東方面一般ノ狀況未ダ著變ヲ呈セズ

(4) 南東方面ニ於テ八月四日來平常出現機ナル哨戒機ノ出現多シ

(5) 「グッドウエイ」方面ノ飛行哨戒狀況著變ヲ認メズ

ニ濠洲北東海面母艦一隻外一隻「タウンズビル」近海

(八月七日十五時)

一終

第三課

日誌至秘

電報

通電先 次長 剛

沖袋參電第九八一號

海軍情報 (八月八日南東方面敵艦船狀況)

(八月十日十一時受)

一南東方面各通信系共ニ閉散ニシテ特異ナル狀況ヲ認メズ

一「ソロモン」群島方面總出現艦船二五隻特ニ重要任務ハ新シク認

メザルモ「パニカ」ニ到ル行動中認メラルモノ稍多ク「ニュー

	八			
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
沖	〇	〇	〇	〇
入	〇	〇	〇	〇
部	〇	〇	〇	〇
隊	〇	〇	〇	〇
參				
謀				
長				

昭和一八八一

247

1274



ゼウジヤ」方面ニ對スル輸送増強ハ引續キ相當ニ活潑ニ行ハレツ  
ツアリト認ム

三 濠洲東岸及東部「ニューギニヤ」方面

(1) 濠洲東岸英艦、米艦各二隻計四隻「ラビ」近海米艦一隻「タウ  
ンスビル」近海米大型巡洋艦級一隻  
平常ニ比シ出現艦艇多シ

(2) 期日未詳ナルモ最近「グドナイフ」島附近ニ陸上通信基地出現  
既報ノ同地附近ノ通信ニ於テモ活潑ノ通信ハ大部分右陸上基地  
ニ於テ處理セラレツツアリト又其ノ現レハ「モレスビー」  
「オムハ」方面ニ於テ相當活潑ニシテ六月二十九日頃ヨリ大型  
機發着可能ノ陸上基地モ完成シ同方面ノ軍事施設ハ最近著シク  
強化セラレタルモノト認ム

(3) 右ノ外所在不詳ナルモ東部「ニューギニヤ」方面ニ新設基地ト  
認メラルモノ最近一、二出現セリ

(終)

密

日誌用 至急秘

電報

通電先次長 剛

沖集參電第九八二號

沖部隊參謀長

昭和十八年八月十一日  
八時四十分發  
九時五分受  
二時五分點

海軍情報(八月九日十六時三十分海軍通信部隊發)

(八月十日十一時受)

今朝(八月九日)來ノソロモン群島方面通信  
狀況ヲ綜合スルニ相當有力ナル敵部隊(三隊  
分發信シアリ)ニナーゼウジヤ方面ニ策動ノ  
徵候極メテ濃厚ナリ嚴重警戒ヲ要ス  
(八月十日十一時)

(終)